

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【246】
2. 日時：令和2年7月1日 16時00分～18時30分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官、江崎企画調査官、植木主任安全審査官、
宇田川主任安全審査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、
羽場崎主任安全審査官、三浦主任安全審査官

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 建築総括担当部長 他5名

原子力設備管理部 部長 他9名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書について、令和2年6月24日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【コントロール建屋の耐震計算書、補足説明資料】

- 基礎スラブの弾塑性解析結果について、各応力、ひずみ分布を提示のうえ、結果の考察を説明すること。
- 基準地震動 S_s-1 のNS方向のケース3については地震応答解析を地盤3次元FEMで行っているため、その際の最大接地圧及び最小接地率の算定方法を説明すること。
- 応力解析モデルの境界条件のうち側面の水平及び回転ばねの考慮について、既工認からの変更点であるため、備考欄において理由を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

なし